

# 宍道湖流入・流出水調査月報

(平成14年5月期)

## 水質概要

5月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層19.3、中層18.6、下層18.4)と比較してほぼ平年並の変動であった。図1に示すように、5月の水温変動は17~21で変動しており、下旬に向かうにつれ上昇していた。水深による顕著な差異は見られなかった。

5月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層8.0psu、中層11.6psu、下層14.3psu)に比べて、低い値を示していた。また、5月においては、高塩分水の遡上はほぼ周期的に確認されたが、5月9日~5月14日にかけての5日間、高塩分水の遡上は見られなかった。

5月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層ともに5.5~6.6mg/lの変動であった。(平均値:上層5.8、中層:6.2、下層:7.1)。概ね4mg/l以上の変動であり、顕著な貧酸素水の流入は見られなかった。

図1に示すように、顕著な変動は見られなかった。

なお、下層の溶存酸素濃度については、欠測としております。

表1 5月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		( )	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	17.8	4	6.2
	中層	17.7	6.3	6.4
	下層	17.7	7.4	
中旬	上層	18.7	3.8	5.7
	中層	18.7	4.8	6.6
	下層	18.7	5.5	
下旬	上層	21.3	5.7	5.5
	中層	21.1	8.4	5.5
	下層	21	9.6	
月間平均 (5月)	上層	19.3	4.5	5.8
	中層	19.3	6.6	6.2
	下層	19.2	7.5	

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

## 水質

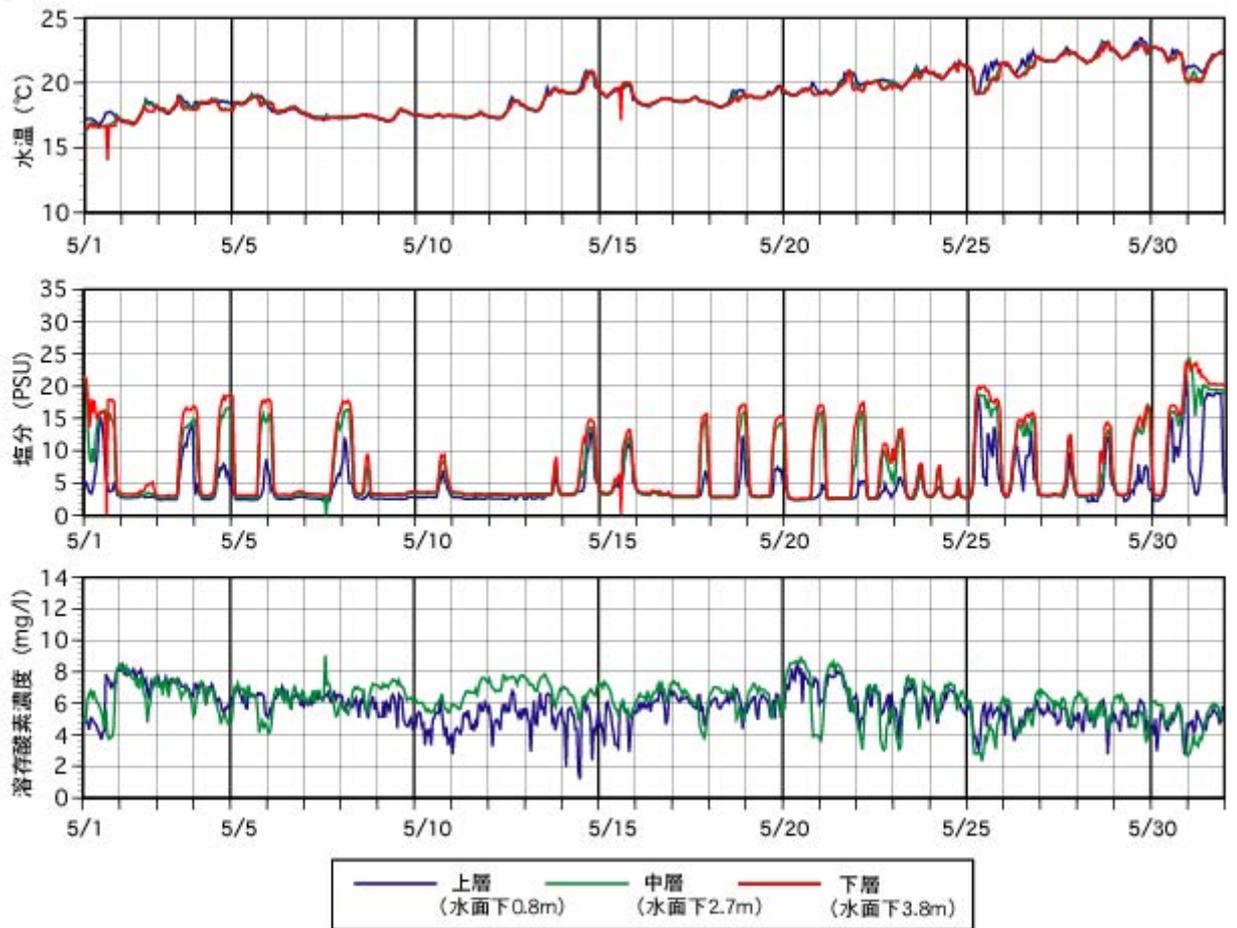


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

## 気象概況

図2に示すように、5月における顕著な気圧変動は、5月8日、11日において急激な低下が見られた。全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1008.7hPaは、平年値（平年値1012.0hPa）と比較して低かった。

表2に示すとおり、5月の日射量は、0.1138MJ/m<sup>2</sup>であり、4月と比較して若干高い値を示していた（4月平均値：0.1080MJ/m<sup>2</sup>）。

5月の風向・風速は、平均風速1.2m/sec（平年値3.3m/sec、西風）であり、平年並の値と比較して低かった。

表 2 5月期の気象概要

	気温 ( )	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m <sup>2</sup> )
上旬	16.8	1012.5	1.4	南東	0.0788
中旬	16.7	1008.3	1	南	0.105
下旬	19.6	1005.6	1.2	南西	0.1537
月間平均 (5月)	17.8	1008.7	1.2	南	0.1138

( 平年値は、平成 13 年気象の暦 ( 山陰版 ) ( 財 ) 日本気象協会中国センターより引用 )

( 表中の数字は、平均値を示す )

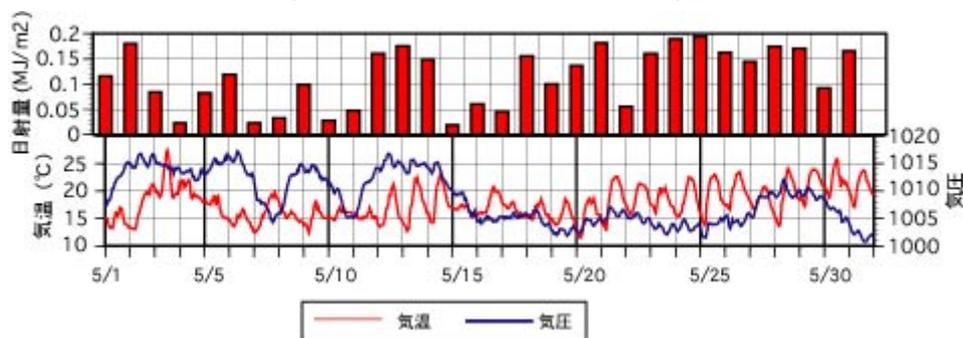


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

### 流況

5月の平均東方流速は、上層 9.2cm/sec、中層 11.6cm/sec、下層 11.0cm/sec であった。5月の東方流速は、潮汐による往復流は見られるが、全体的に宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。

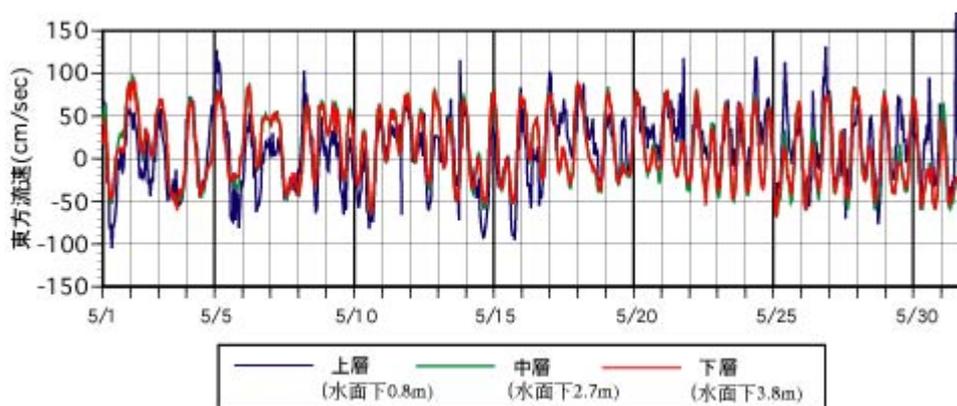


図 3 東方流速の時系列変化

---